



根 笹

2023

(令和5年)

11月1日

発行 根笹会 静 朋人
住所 〒379-0116
群馬県安中市安中3702
TEL. 027-381-0240
FAX. 027-381-0630

新任のごあいさつ



新島学園同窓会「根笹会」

会長 静 朋人

(32期)

はじめに、立見前会長及び退任された役員の皆様大変お疲れさまでした。先行き不透明なコロナ禍真つ只中ほぼ事業が中止となっていく中、学校側との調整や決断にご苦労されたことと思います。また運営上避けては通れない財政基盤の強化に積極的に取り組んでいただき、のちに体制を引き継いでいただいたことも深く感謝申し上げます。

皆様こんにちは。私は今回同窓会長に就任いたしました32期の静 朋人と申します。自己紹介を少しさせていただきます。出身は前橋で、今は学園から徒歩5分の場所に住んでいます。子供は2人おり59期大樹・66期亮雅とも学園でお世話になりました。彼らの在学中はPTA役員を務めさせていただき最終2年間は湯川会長より引継ぎ会長をさせていただきました。現在は評議員様の理事ということで学園の運営にも関わらせていただいております。

仕事は、株式会社並木という

会社を経営しております。飲食・物販・賃貸等を展開しており、安中で「並木苑」という宴会場と「宅配クック1・2・3」という在宅配食サービスを手掛けております。また昭和村で関越自動車道の「赤城高原サービスエリア」を運営しております。趣味は食べ歩きとゴルフ。仕事で関係するラーメン屋・蕎麦屋・パスタ屋・ピザ屋・カフェ等々の評判の新店を回っています。情報があつたら是非お知らせください。

またゴルフを30歳くらいで始め、あまりうまくなることなくスコア90〜100くらいの実力ですが、年間30回くらいラウンドしています。師匠は萩原永史先輩です。

さて今回会長を引き受けるにあたり、退任をされた方の補充や、新たな本部役員をお願いする必要があります。まず考えたのは女性を増やすことです。学園の生徒はほぼ男女均等ですが、役員は男性でした。続い

役員紹介

会長・副会長



会 長 静 朋人
32期 安中市



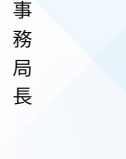
副会長 山田 中久
26期 安中市



副会長 田中 美香
29期 安中市



副会長 萩原 永史
25期 安中市



事務局 長 須川 裕
(36期)

事務局員

沖田 恭子 (28期)

酒井 三恵子 (36期)

外 处 順子 (37期)

坂田 拓斗 (57期)

水井 雄太郎 (63期)

幹 事



湯本 直也
28期 前橋市



大野 晋吾
34期 富岡市



山田 恵一
37期 安中市



高橋 司
42期 下仁田町



前田 美佐
43期 高崎市



萩原 昌弘
45期 安中市

監 査



白田 周一
30期 桐生市



横山 慶一
38期 富岡市



和田 弘
27期 前橋市



湯川 嘉昭
31期 富岡市



陳 美穂
34期 高崎市



菊池 和美
37期 高崎市



長壁 亜紀子
41期 高崎市



山口 香子
44期 安中市



根岸 誠
28期 高崎市

て若いメンバーを増やしたいということでした。活動する同窓会、また少しでも若いメンバーの参加を促すためです。

そして最後が同窓会・根笹会の統合に伴う各地根笹会への声掛けです。これにより名実ともに一体となることを目指しております。また組織改変には間に合いませんでしたが、短大の同

退任のごあいさつ



記録的な厳しい暑さが続く毎日ですが、同窓生の皆様におかれましてはご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、この度、3期6年間務めさせていただきました同窓会会長を退任させていただきましたこととなりました。任期中は浅学菲才な私のような者に、多くの同窓生の皆様から温かいご支援、ご協力を賜りましたこと、心より御礼申し上げます。ありがとうございました。

任期の後半はコロナウイルス感染症に翻弄され、同窓会本部の定例活動の多くが制限されるということとなり、どうすることもできないもどかしい気持ちと寂寥感に苛まれましたが、同

窓会との連携も視野に入れていきたいと考えています。

コロナが終息しつつあるいま、徐々に活動が復活しつつあります。会員皆様のご意見を頂戴しつつ、役員との協議のもとに学園との一体感を生むような体制を模索していきたいと思っております。今後ともご支援をよろしくお願いいたします。

立見賢治 (20期)

窓生の皆様はもちろんですが、同窓会本部役員そして母校同窓会事務局教職員の皆様に支えられ、何とか大過なく任を全うすることができました。感謝の気持ちで一杯です。今後は、同窓生の一人として、できる範囲で母校の支援に努めさせていただきます。

後任といたしまして、これまで副会長として力強く私を支えていただきました32期の静 朋人さんが会長職を引き受けてくださることになりました。同窓生の皆様におかれましては、これまで以上のご支援、ご協力を何卒よろしくお願いいたします。

終わりに、母校の益々の発展と皆様の弥栄を心より祈念いたしまして、退任のあいさつとさせていただきます。

「いのちの教育2023について」



学校法人新島学園

理事長 学園長

湯浅康毅

2023年度新島学園中学校・高等学校同窓会根笹会会報『根笹』発行、誠にめでとうございます。昨年に引き続き今年度も学園長を兼務させていただきます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

本年度の根笹会総会において、これまで中高PTA会長をはじめ根笹会では長く副会長をお務めいただき、この度新会長に就任された静 朋人様には心からお祝い申し上げます。また新たに本部役員のお立場を担われる皆様方にも是非母校・新島学園の歩みを更に盛り立てていただきますようご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

静新会長様におかれましては、私がPTA時代に安中地区役員として参加していた時に一緒にさせていただいたり、現在では学校法人新島学園の理事として日頃より欠かせない経営陣の一員としてその責務を十分に果たしていただいております。

是非これまで以上に学園と同窓会との絆が更に進化・深化していくことができますようお力添えを賜ることが出来たらと願っております。

そして、これまで3期にわたってお務めいただきました立見賢治前会長様にはコロナ禍の影響により同窓会運営が非常に難しい中であつて常に母校に在籍する後輩のことを一番中心にしてお考えいただき、同窓会として何ができるのか？を常に問い、答えを見出してくださいました。また一緒に歩んでくださいました前役員の方々に心からの御礼を申し上げます。

2019年度末から始まり全世界中に猛威を振るった新型コロナウイルスの影響により、多くの方が日常を制限される生活を強いられ心を痛める年月が続くことになりましたが、今年度からは軽減され日に日に日常生活を取り戻すようになってきました。

久しぶりに根笹会総会・懇親会が行われ、また地区別根笹会も多くが4年ぶりに再開され、世代を超えた多くの同窓生たちとの交流も戻ってきており、嬉しいばかりであります。

この交わりで改めて思いますことは、本学は多くの多様な同窓生による物心両面の支えによって永続できていることでもあります。改めまして根笹会本部及び各支部の皆様には日頃新島学園へのご協力を賜り心からの御礼を申し上げます。

この度根笹会運営を担ってくださる皆様の変更がありました。が本学も人事異動がありました。まずは前年まで古畑晶前校長の下、副校長を務めておりました小栗仁志先生が今年度から第12代の校長として就任いたしました。小栗新校長は長らく本学のキリスト教教育を担う宗教主任としてお働きの御礼を申し上げます。また、2019年度に教頭、そして2022年度に副校長を歴任され、この度校長に就任いただくことになりました。

本学奉職後、一貫して建学の精神である新島襄の精神を「自由」と表現し、掲げるメッセージや行動を通して「自由」の精神を貫いた教育を大切にしていたのであります。今後は「良心に基づく自由」を根幹に置いた教育を実践していただきます。同窓生の皆様も是非小栗新校長

を応援いただきますようお願い申し上げます。

また小栗校長を支える教頭人事として、昨年から継続で田中聡子先生が、そして新任として45期生の櫻井俊光先生が就任されました。また昨年まで中高事務長をお勤めいただいた佐俣幹夫氏が短期大学の事務長として異動され、新たに細谷 聡氏（前短大事務課長）が新事務長に就任しております。

現在群馬県内の私立学校を取り巻く教育環境は過渡期にあり、外部環境の変化に迅速に対応していくことと同様に学内の変化も求められております。現在新校長のリーダーシップによる学内改革を積極的に進めていただいております。また支えていただいている教職員一人ひとりの理解と協力により、様々な試行錯誤を行い、日々最良の教育環境

を提供できるよう尽力いただいております。

これら学内の取り組みが皆さんにとって後輩にあたる生徒たちの成長に伴走し支援する日々の積み重ねが、生徒の成長だけでなく教師の成長にも繋がる「友はわが師、師はわが友」を象徴する学園独自の文化醸成に繋がると信じております。

一方で学園全体を捉えてみると、今年で創立76周年を迎えております。現在創立100周年を見据えて2017年の時に掲げました「NIJIMAGAKUEN GRAND DESIGN 2027：木を育てる。」ビジョンを推進中であります。

この中で今年大きな出来事がありました。それは安中市と学校法人同志社が包括連携協定の締結を行ったということです。この協定の元には、我々の

建学の精神である新島襄がいるということであり、今年が新島襄生誕180周年であり、再来年には学校法人同志社が創立150周年を迎えるタイミングであり、国内で初めて当地に新島襄による福音の種が蒔かれて149年目の出来事であります。

これまで何世代にもわたって双方の関係性が目に見える形で、また一方で目に見えない形で伝承されてきた文化・歴史を背景に正式に手を結んだということになります。

間に入り調整をさせていただき、これから本格的に交流を深めていく流れの中で新島学園の存在は非常に重要であり、ますます活かされようとしています。

4年後に迎える創立80周年に向けて新たな新島学園の姿をお示しするための全体構想を策定中です。今後も新島学園でしか行うことができない取り組みに磨きをかけてまいりたいと思っております。規模の拡大だけを目指すのではなく、影響力の拡大を目指すし、新島学園の森づくりに導いていきたいと思っています。

さて昨年は本学の次世代に繋げていく新たな取り組みとして位置付けている「いのちの教育」について触れさせていただきました。今年進捗状況について

ご報告させていただけたらと思います。

「いのちの教育」とは、新島学園が開学以来大切にしてきた良心教育を具現化した取り組みであり、現在歩を進めております第5次中期経営計画に繋がります。理事長ビジョンである「No Place like Nijima」に通じ、教育理念である教育の五原則と関係し、建学の精神の実現を目指すための次代の学びの在り方でもあります。

「いのちの教育」を推進していく上で大切な視点を3つ挙げさせていただきます。

一つ目は「キリスト教」の視点です。こちらは昨年の「根笹」でも触れさせていただいた「全面受容と問い」の側面から「いのち」について考察していきたいと思っております。

二つ目は「生物多様性」です。自らのいのちと他のいのち、そして繋がりについて共に学んでいけたらと思っております。

三つ目は「世界市民」です。教育の五原則「己を知り、国を愛し、隣人に仕え、世界を友とします」を象徴し、今後ますますグローバル化が進む中にある本学として真の国際性を定義するワードとして挙げさせていただきます。

昨年度は学内の狭い範囲ではなく、出来るだけ様々な視点から「いのち」について理解を深

めるため情報収集を行い、宗教別、国別での捉え方、日本（群馬県・安中市）での取り組み事例について、専門家からのヒアリング、現地視察等実際に足を運び実体験をしてきました。

また同時に学内の教科別、学年別、校務分掌別の先生方とも意見交換をし、現在既に「いのちの教育」として捉えることが出来る既存の取り組みを確認したり、意見交換の中で新たなアイディアや違う視点が生まれ、理解を深めることができました。このような準備期間を経て、昨年度末に中学1年生と3年生を対象に「いのちの教育キックオフセミナー」を企画し本格的にスタートすることが出来ました。

セミナーでは、いのちを繋いでいくために必要な「食」についてお二人の講師をお招きしました。お一人目は、下仁田町で、貴重な経木を使用した納豆を製造されている(有)下仁田納豆の南都由美様による紙芝居「めめたんのたんじょう」をご披露いただき、大豆という一粒の「いのち」がどのように生まれ、我々の体になっていくのか紙芝居を通してお話しいただきました。お二人目は、甘楽町で農業、印刷業、デザイナーとして活躍で、2020年より新島学園ファームの農業指導をしてくださっている強矢義和様で、演題

安中市と学校法人同志社
包括連携協定締結記念講演会

歴史を学び 未来へつなぐ

日時 7月17日(月・祝) 午後2時20分～4時20分 (開場 午後1時30分)
午後2時20分～主催者挨拶 (中嶋良 安中市 学校法人同志社代表 澤田良 八田良二)

場所 安中市文化センター大ホール

参加方法 事前申込不要(無料) 当日会場にて受付

講演 午後2時30分～3時20分
講演「安中と同志社の史的連続
～シン・中山道への道～」
本井康博氏
同志社大学学長
1942年生まれ。神戸大学、同志社大学、同志社女子大学で教職を歴任。同志社大学で学問的・社会的に活躍。同志社大学で学問的・社会的に活躍。同志社大学で学問的・社会的に活躍。

講演 午後3時30分～4時20分
講演「夢を追いかけ
～夢のなけなし夢は叶う～」
新島直治氏
同志社大学学長
1972年生まれ。同志社大学で学問的・社会的に活躍。同志社大学で学問的・社会的に活躍。同志社大学で学問的・社会的に活躍。

協賛 安中市役所 協賛 デジタル推進課 TEL:027-382-1111 (内線 102・1022)

安中市と学校法人同志社
包括連携協定締結記念講演会

は「農業・宮沢賢治に学ぶ」のちの教育に寄せて」でした。南都様の「食べたものが体になっていくこと」強矢様の「自分を勘定に入れない生き方」のメッセージは共に大地の恵みを直接感じながら過ごしておられる方々ならではの活きた言葉でありました。講演には新島学園の取り組みをお支えいただく(有)下仁田納豆代表であり、評議員もお務めいただいている南都隆道様、そしてかぶら大豆生産者



左から：南都隆道評議員、南都由美様、強矢義和様、湯浅康毅

協議会の皆様にもご同席いただきました。今年度が始まってからは、新たな中高ホームページで「いのちの教育」専用のページを設けていただき広く案内をし、全保護者宛の通知で報告・協力依頼を行い、礼拝堂での礼拝が復活した際には奨励を担当させていただき「いのち」について生徒向けにメッセージを送らせていただきました。また先生方には今年度「いのち

ち」についてお一人お一人に独自で考えていただき授業等に反映し実行していただき授業等に依頼もいたしました。早速ある先生は朝の放送礼拝で「いのち」をテーマにお話しいただいたり、他の先生の場合は修学旅行で震災をテーマにして候補地を選定していただいたり、他には助産師による出前講座を企画していただいたりと、昨年からアイディアを具現化していただけるように活発化してきています。一方で今年の評議員会で「いのちの教育」の進捗状況について報告させていただきました際には、評議員会終了後にある評議員様より県内の障がい者施設について情報をいただいたり、ある根笹会では乳がんに関する支援をしている卒業生との情報交換があったり、保護者の方からも県内の医療関係者が執筆されている書籍についてのご紹介があったり、近隣教会との連携事例に飛躍したりと、この取り組みの説明と協力依頼をする多くの学内外の新島学園を支えてくださる皆様より具体的な情報をいただけるようになり本当に有難い気持ちで一杯であります。

今後「いのちの教育」を更に本学らしい取り組みとするために現在構想しているプロジェクトがあります。その一部をご紹介します。

【学校法人アジア学院訪問】

今年6月6日に栃木県那須塩原市にある学校法人アジア学院様に初めてお邪魔して来まし

アジア学院様は、東京都町田市に設置した鶴川学院農村伝導神学校内東南アジア農村指導者養成所を前身に1973年に現在地にキリスト教主義の学校法人として誕生し今年で創立50周年を迎えます。

これまでに約60か国以上、1399名がアジア学院を卒業し世界中で農業指導者として奉仕しています。

創立者は日本の神学博士・牧師である高見敏弘先生です。そして校長先生は、新島学園34期生である荒川朋子先生です。

本学は以前よりアジア学院様と交流を持たせていただいております。高校生ワークキャンプや短大生用のスタディツアー等実施しておりましたが最近新型コロナウイルスの影響によりここ数年は実施できておりませんでした。

今回の訪問の目的は、荒川先生には今年度より本学の評議員にもご就任いただくこともあり、また非常に先進的な取り組みを50年間取り組まれて来ている学びの場を是非直接触れてみたいと思います。今後の「いのちの教育」を通じた連携も踏まえ訪問させ

ていただいた次第です。今回は新島学園ファームの農業指導者に行っていたという強矢義和さんにご一緒いただきました。

到着早々人生初となる田植えに挑戦し、その後荒川先生に各施設を丁寧にご案内いただき、また全て農場、施設内で収穫した食物を使用したビュッフェ方式のランチをご馳走になりました。

兎に角、アジア学院様の取り組みは庄巻の一言でした。

50年間片時も休むことなく、しかしそれは何かを達成するために無理強いするような脅迫感ではなく、それぞれ世界中から使命を携えて集まった人たちの熱量によって自発的に作り上げて来てこられた場の空気の迫力と言いましょか。

または掲げるミッションが太い幹となつて、全ての取り組みにしっかりと繋がりが合い、スパイラルアップしている様を目の当たりにしたからでしょうか。

決して難しいことを伝え行っているのでは無いですが、実は現代において最も身近でありつつも最も伝えづらいことの一つを実践されておられるからでしょうか。

見た目も背景も違う世界中から集められた次世代の指導者達の価値観が交錯し練られた独自の価値観がそこに歴史的に積み重なって存在しているからで



学校法人アジア学院訪問

しょうか。

足元に自然と咲く、十字架をイメージするドクダミの花もまるで意図してそこに植えられているのでは？と錯覚してしまうように、様々な存在している要素が緩やかながらも一つのビジョンに向かって束ねられている塊感とでもいいでしょうか、何もかもが初めての体験でした。

兎に角、人間は時折命を消費するだけの存在になってしまいうこともありますが、アジア学院様では見事に命を無駄なく再生産されており、循環されています。

今後新島学園で「いのちの教育」を進めていく上で連携を図っていかれたと思います。

荒川先生にはお忙しいところご対応いただき誠に有難うございました。そして学生の皆さん、ボランティアスタッフの皆さん、ご関係の皆さん、一緒にさせていただき有難うございました。

【碓氷峠廃線ウォーク

(横川～軽井沢間) 視察

8月13日に(一社)安中市観光機構主催の廃線ウォークに、中高教頭の田中聡子先生、教諭の後藤勇治先生と私の3名で参加してきました。

このツアーは1997年に廃線となり、現在は立ち入り禁止

となっている信越本線横川～軽井沢間約11km、高低差約550m、最大勾配66・7%、18のトンネルを徒歩で約5時間かけて踏破する内容です。

大変人気の観光ツアーで、開始してから5年になろうとしているそうですが、国内の鉄道ファンはもとより最近では海外の方も参加していたり、その他は研修目的でも開催されるなど年々ニーズが多様化し認知度が高まっています。

参加者全員安全のためにヘルメットを被り、ガイドを担当される安中市観光機構の上原さんの語りをイヤホンで聴きながら、明治時代から続く碓氷峠の鉄道文化や歴史について理解を深めていきます。

あるトンネル内では素敵なプレゼンテーションタイムがあったり、他ではベストマッチな音楽が途中流れたり、トンネル内だからこそ出来る「特別な体験」であったり、このツアーだからこそその絶景を思い出として刻むことができたり、またこの季節ならではの小さな自然の脅威(ヤマビル)も体験できたりと、全てが初めての体験であり、且つかつてEF63が活躍した横川～軽井沢間を電車で通った記憶がある者にとっては更に感慨深く特別なひと時となりました。

安中の地で創立した本学が地域連携の意味も含めて地元の歴



【碓氷峠廃線ウォーク（横川～軽井沢間）視察】

史を学び直し、生徒・学生に対し「いのち」という視点でこの唯一無二の体験をどのように伝えていくかを考える貴重な視察となりました。

参加にあたり（一社）安中市

観光機構の萩原局長様、上原様には色々とお気遣いをいただき誠に有難うございました。またサポートいただきました群馬県立松井田高等学校の神戸先生も有難うございました。

このようなかたちで現在日々「いのちの教育」の取り組みが実践されアップデートしており、他にも多くの関連する構想が進んでおります。この取り組みは海外との交流も含まれています。本誌が発刊される10月には2019年以来的のポストンに出向き、新島裏ゆかりの教会や学校との交流を深める機会が復活することになりましたし、また、別の機会で新島学園ファームの取り組みを通してEUの生産者とも交流を進めるための関係性を構築することも始めています。

これからも「いのち」をテーマに様々な視点を通して新島学園としてこれまで行ってきた関連する取り組み事例を確認し、他を模倣し、こなすための表面的な行事ではなく、私立学校として建学の精神の実現を達成するために新島学園独自の教育の在り方を目指し、年を追うごとに練られ熟成され、オンリーワンの誇りある伝統校・新島学園としてしっかり育てていきたいと願っています。

同窓生の皆様には是非母校に後輩たちを激励しにお越しいただきたいと思えます。そして新島学園の歩みに対して引き続きのご理解とご支援を賜りますようしくお願い申し上げます。

校長就任にあたって



新島学園中学校・高等学校

校長 小栗仁志

新島学園中学校・高等学校同窓会根笹会 会報「根笹」の発行、おめでとうございます。また、平素より同窓会根笹会の皆様には、新島学園中学校・高等学校の活動にご理解、ご協力、ご支援を賜り、この場を借りて改めて御礼申し上げます。この4月に新島学園中学校・高等学校の校長に就任しました、小栗でございます。まだまだ力不足の若輩者ですが、重責を担うために粉骨砕身努力する覚悟です。どうぞ、これからご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い致します。

新島学園中学校・高等学校は1947年に「新島裏の教育理念」に基づいた教育を、新島裏ゆかりの地である上州安中にて実現するために創立されました。校長になって目指すところはまず、新島学園の建学の精神である新島裏の教育理念の再確認と深化だと考えています。新島裏の教育理念は主に三つの柱から説明されます。

一つ目はキリスト教主義です。新島裏は留学中のアメリカで洗礼を受けてキリスト教徒となります。最終的に彼は1874年に、アメリカのキリスト教会により、牧師・宣教師として日本にキリスト教を広め教会を設立するために派遣される形で帰国しました。また新島裏がフィリップスアカデミー、アーモスト大学、アンドーヴアー神学校で受けた教育はいずれもキリスト教主義の教育でした。新島裏は自分が受けて良かったと思った教育を日本でも実現したかったのです。新島裏にとってキリスト教主義は欠くべからざる要素でありました。

新島学園中学校・高等学校では生徒一人ひとりの信教の自由は守りつつ、キリスト教主義教育を実践しています。朝の15分の礼拝の時間は、神を礼拝する学校としての姿勢を明確にするものです。これから学校の一日が始まるその時、一旦日常から離れて心を静め、パイプオルガ



入学式風景（校長としての初行事）

ンの音色に耳を傾け、讃美歌を歌い、聖書の御言葉と礼拝メッセージに心を傾けます。卒業生の皆さんの多くが懐かしんでくれるひとときです。礼拝は本校の魂です。朝の礼拝をより充実させ、生徒に神の御言葉に触れる機会を増やします。

また、キリスト教主義は単に礼拝や聖書の授業を行っているということだけではありません。教育は何か良くて何が悪いのか、価値基準がなければできないもの

のです。キリスト教主義による教育は、学校を持つ価値基準が聖書の御言葉とキリスト教の伝統に基づかなければなりません。聖書の語るキリスト教の精神は、神と人、人と人との間の愛と信頼に裏打ちされています。私達は愛と信頼に基づいて生徒と接する必要があります。「言うは易く行ふは難し。」教職員も限界を持つ人間ですから、そう簡単に理想通りにはいきませんが、本校の中に愛と信頼が溢れ、「キ

リストの香り」(コリントの信徒への手紙二より)が漂うようになることを願っています。

在校生、保護者、また卒業生の皆様からも「新島学園は生徒と教員の精神的な距離が近い」とよく言っていたいただきます。学生歌1番にて「友は我が師、師は我が友」と歌われてきた伝統が、まさにそのキリストの香り、空気を醸成しているのだと思います。私は日本基督教団の牧師であり、学校付きの牧師として、また、宗教科・聖書科の教員として本校で働いて参りました。その経験を特にキリスト教主義の発展のために活かしていきたいと思っています。

二つ目は自由主義です。新島裏は安中藩の侍として生きていた時、漢学や蘭学などの学問の魅力に目覚めます。彼はこれからの安中藩のために、また日本のために、世界の最先端の学問を学ばねばならない、学びたいと考えていました。しかし当時の安中藩主の板倉勝殷はそれを認めず、自分の命令を聞いていなければならない対応でした。新島裏は自らのやりたいこと、やるべきと考えたことを貫くために当時の国禁を犯して国を抜け出しアメリカへと向かったのです。

アメリカに着いた新島裏が、後に養い親となるハーディー氏に最初に問われたのは「あなた

は何かしたくてアメリカに来たのか」でした。武家社会・封建社会では新島は自分の意見を聞いてもらえず、上からの命令に従うことを要求されてきました。それに対し、新天地アメリカでは自分の意志を尋ねられ、逆に自由に行動することを求められたのです。その感動は大きく、新島裏は自分が学校を創立した時に、自分の考え方を学生に押しつけることはせず、学生の意志と自由を極力尊重しました。本校もその新島裏の考え方を引き継ぎ、生徒の自由を尊重しています。

もちろん学校である以上、最低限の秩序は必要ですし、その秩序を守るための規則も必要です。しかし他校に比べればかなり自由度の高い学校となっていると思います。先に紹介した「新島学園は生徒と教員の精神的な距離が近い」との評価は、生徒の意思を聞き届けようという姿勢があることを示しているのではないのでしょうか。生徒の意見を聴くために、教育相談に今までも力を入れてきましたが、これをより強化していきたいと思っています。

また、これからは学校の規則についても生徒と学校が対話を深め、生徒の意見を学校の方針の中に取り入れられるように努力していきたいと考えています。



中3、高1の国際交流プログラム



中学陸上大会

三つ目は国際主義です。幕末の日本を脱国しアメリカ・ヨーロッパに留学をした新島襄は日本の国際人の草分け的存在です。新島は同志社英学校設立後、多くの学生に海外への留学を勧め、多様な価値観に触れることを奨励しました。本校も英語教育に力を入れると同時に、短期、長期の留学プログラムを始め、異文化交流のプログラムを積極的に採用し、国際的なセンスを持った生徒の育成に力を入れています。欧米に偏った国際交流ではなく、アジアの人々との出会いも大切にしていきたいと思っています。

以上、キリスト教主義、自由主義、国際主義の三つの柱を大切にしつつ、建学の精神の深化、発展に心と力を尽くしたいと考えております。

最後に少し学校の近況についてご報告を。

今年度の学校の歩みの中で大きな変化は、やはり新型コロナウイルス感染症防止のための制限が大きく緩和されたことでしょう。今年の5月から新型コロナウイルス感染症の感染症法上の取り扱いが2類から5類へと変更され、マスクの着用ルールを始め、従来の行動制限が大幅に緩和されました。

長く続いたマスク生活に慣れきったためか、マスクの着用が任意になった後もマスクを着用

して過ごす生徒が多かったのですが、今年の夏が大変な酷暑であったこともあり、マスクを取る生徒も大分増えてきました。徐々にではありますが、新型コロナウイルス流行以前の様子がよみがえり始めています。

2019年12月から世界的な流行が始まった新型コロナウイルス感染症は、学校教育にも大きな影響を与えました。

2020年の春に行われた全国一斉臨時休校に始まり、授業そのもの、様々な行事、部活動の活動や大会など、生徒が楽しみにしてきた学校生活が大きく制限され、この間に在学していた生徒達は本当に悔しく、悲しく、辛い思いをしてきました。当たり前のように思っていた、学校に皆が集まり、授業や様々な課外活動にいそむ日々が、こんなにも愛おしく大切で、神の恵みの上に成り立っていたことを痛感させられました。

本校のような全日制普通科の学校は、学校に皆が集い、教職員、生徒、保護者、近隣の方々を含め、そこに集う者の人格と人格が触れあうことでこそ、あべき教育が可能となります。神と人間の人格的交わりが基本となるキリスト教主義の学校としては、なおさら重要なことです。そのような日々をようやく取り戻しつつあることは、本当に嬉しく、神に感謝したい思い

です。

特に象徴的だったのは6月17日と18日に実施された第33回学園祭でしょう。2年前の前回は外部のお客様をお招きせず、大幅な企画の制限を行った上で生徒だけでの開催でした。実に4年ぶりに外部のお客様をお招きしての開催となりました。

感染対策を行いつつも、模擬店の実施など新型コロナウイルス流行前に近い形で行うことが出来ました。1日目に2,167人、2日目に2,668人、両日合わせて5,000人に近いお客様にご来校いただき、本当に盛大に行うことが出来ました。

酷暑の中での開催で熱中症も心配されましたが、そんな中で生徒達のはじけるような笑顔がとても印象的でした。文化祭や学園祭を契機とした新型コロナウイルス感染症拡大が県内の他校の事例から報告されていましたが、本校では幸いに流行がほとんど無く、神の守りを実感させられた学園祭でもありました。

国際交流プログラム、部活動での大活躍など、他にもたくさんご報告した生徒達の活躍がありますが、それは別の機会に回したいと思います。これからもうすぐ、新島学園中学校・高等学校の歩みをお支えくださいますよう、お願い申し上げます。

第33回学園祭 2023年6月17・18日



入場ゲート



バザー



展示



模擬店

恩師探訪

肥後正久先生の想い出

『ネクタイ・カレー・清心寮・笑顔』

在職中の肥後正久先生
(1984年頃)

としてボストンを訪れました。2学期の期末試験を終え、冬休みを少し前倒しして出発し、暮れには帰国するというプログラムでした。米国の古都ボストンで現地の語学学校に通い、クリスマスシーズンを通じてというものでした。

ボストンは、ニューイングランド地方最大の都市です。米国最古の公園といわれる「ボストンコモン」や、そこから伸びる「フリーダムトレイル」など、米国の独立革命の地で知られています。そして新島学園に連なる我々にとってみれば、ここは「新島裏が学んだ街」であり、まさに「聖地」とも

『ビーコンヒルの小径』
《新島裏を語る》シリーズ第8巻

いうべき場所です。新島裏が暮らしていたというレンガ造りのアパートは、今でもほぼそのまま現存し、実際に使われていました。

新島裏研究の第一人者、同志社大学神学部の元教授である本井康博先生の著書、『ビーコンヒルの小径』(《新島裏を語る》シリーズ第8巻)、を読み、さらにはガイドブックとして携えて現地に赴きました。

今回の留学では、アーモスト大学への見学研修も予定されていました。そのため私は、アーモスト大学に行く当日には、このネクタイを着けていこうと計画していました。それは、肥後先生はイエール大学留学時代に、きつとこの地を訪れているだろうと思っていたからです。

時代は遡り1988年、私は着任一年目の新人教師でした。ようやく2学期の授業が終了し、冬休み直前の頃でした。その年は、クリスマスページェントが行われる「学園クリスマス」の翌日が2学期の終業日でした。

当時、肥後先生は新島学園中学校・高等学校の教頭先生でした。学園クリスマスの日、肥後先生の胸元をふと見ると、このサンタクロースの柄のネクタイが目に入りました。最近でこそ、様々なキャラクター

をデザインした、かわいらしいネクタイを目にすることは多くなりました。しかし当時は、こうした柄のネクタイはとても珍しいものでした。私は「教頭先生、とても素敵なネクタイですね。私もいつかそういうネクタイが似合うようになりたいです」と話しかけました。すると、ややはにかみながらも笑顔で、数年前に高島屋で見つけた旨を話してくださいました。

翌日の終業式の朝、打ち合わせ前に肥後先生が、私のところにやって来ました。そして「さきほど、さりげなく紙袋を手渡してくれました。その中を確認すると、なんと中にはあのネクタイが入っていました。私は、びっくりするやら嬉しいやらで、その日一

日落ち着きませんでした。以来、このネクタイを家宝として扱い、学園クリスマスの日、年に一度だけ着用することを決めました。もちろん、肥後先生の在任中には、年に一度の着用する姿を、ご披露させていただきました。

私は肥後先生の担任学年ではありませんでした。在学中に肥後先生の授業を受けたこともありませんでした。そのため、残念ながら授業やホームルームでの思い出話は全くありません。しかし、私は清心寮生でしたから、寮生活でいろいろとお世話になりました。

1980年代前半頃、当時の寮生は各学年に8、10人ほど、6学年で総勢50人くらいだったと思います。肥後先生は、寮生全員を何人かずつのグループに分けて、交代でご



思い出のサンタクロース柄のネクタイ

自宅に招いてくださいました。お手製のカレーをふるまう「カレーパーティー」を主催してくださっていたのです。当時の寮生の間では、インド人直伝のレシピだと噂されていました。私も寮生時代に一度、お招きに預かりました。

カレーのルーの色は、とてもすっきりした黄色で、スパイスの効いた逸品でありました。その頃に肥後先生が乗っていた、ワンボックスカーで、寮からご自宅まで送り迎えをしていただいたことを、今でも良く覚えています。

肥後先生は1996年度から新島学園の校長先生になりました。県内でも少子化の話が話題となっていました。この年の春からは、清心寮生の募集も中止されました。そうした時代の変化や、校長という重責からでしょうか、笑顔の似合うダンディーなアイビリーガーの顔から、笑顔は徐々に奪われていきました。そんな頃に私は、寮生時代にご馳走になった時のお礼を込めて、あの「インド人直伝レシピのカレーパーティーの話」を尋ねてみました。すると、あのレシピを教えてくれた人は、イエール大学に留学していたと、きのご学友であったことを知りました。また、本来のインド人直伝レシピは、トウガラ

シがたくさん入り、真っ赤で激辛なものだったので、寮生のおなかを満たすためにはアレンジが必要だったのだそうです。あの黄色いスパイスカレーに込められた、心遣いのある裏話を、以前のような素敵な笑顔で、懐かしそうに語ってくださいました。

肥後先生が召天されてから、もう何年も過ぎてしまいました。私が家宝としていたネクタイは、形見にもなっていました。私は、あのネクタイを30年ほどお預かりしておりました。実は今は、私のところにはありません。あのサントクロースは、新島学園の後輩の、とある先生の胸で一年に一度輝いているはず。その先生が誰なのかは、内緒にしておきます。次回の学園クリスマススの日に見つけられるかも知れません。

新島文化研究所 運営委員

星野伸樹 (32期)



新島学園サマーコンサート 2023年8月30日(水)・31日(木)

8月30日(水)、31日(木)に、礼拝堂でサマーコンサートが行われました。今年度はアリエタ・リアツィさん(ヴァイオリン)、ルーカス・ガルシア・村元さん(チェロ 68期)、ベッラ・シュッツさん(ピアノ)によるトリオ演奏です。ルーカスさんは、高校在学中に音楽留学のため単身ブラジルへ渡りました。その後、数々の音楽家を輩出しているオーストリアのモーツアルテウム音楽大学へ進み、活躍しています。

数年前から企画を進めていましたが、コロナ禍で実現が叶わずにいました。今年は念願叶っての開催となり、30日(水)の一般向けコンサートでは200名近くのお客様がご来場くださいました。情熱的でありながらも、繊細な音楽が礼拝堂いっぱいに響きわたり、聴衆の心を揺さぶりました。31日(木)の生徒向けコンサートでは、ルーカスさんによるお話も加わり、若きアーティストたちの説得力ある音楽が生徒たちの心に強く響きわたるステージとなりました。卒業生が世界を舞台に活躍する姿は、私たちに勇気と希望を与えてくれます。

コロナ禍を経て、このような素晴らしい方々によるコンサートが開催できることに、改めて喜びと感謝の気持ちでいっぱいです。また来年度も、多くの方に素晴らしい音楽を楽しんでいただけるよう取り組んでまいります。

サマーコンサートでのプログラムは下記のとおりです。

〈8月30日〉

ピアノ三重奏曲第6番ト長調 K564／モーツァルト
ブラジルへの入口第5番～Portais brasileiros～／メマーリ
ピアノ三重奏曲第2番変ホ長調 D929／シューベルト

〈8月31日〉

ピアノ三重奏曲第1番 口長調 作品8／ブラームス



2023年度『根笹会』

理事・評議員会(総会)&懇親会報告

6月3日(土) 於: マリエール高崎

新島学園同窓会 副会長

田中美香(29期)



6月3日(土)新島学園同窓会『根笹会』の総会と懇親会が、マリエール高崎にて行われました。理事・評議員総数604名に対して、出席者84名、委任状提出者232名の計316名。総会は定足数である2分の1を満たし成立しました。オープニングでは、管楽アンサンブル部による演奏が行われ、「校歌」を始めとして「ジブリメドレー」など素敵な演奏を楽しみました。

引き続き、山田副会長の司会進行により、立見会長から開会の挨拶が行われ、総会が開始されました。第1号議案から第5号議案まで、審議・承認が行われ、第3号議案では、本部役員の改選について審議され、立見会長から静会長の新体制がスタートしました。3期6年に渡り、ご活躍された立見会長を始めとして、これまで根笹会のためにご尽力いただいた役員の皆様、ありがとうございました。

引き続き、各地区根笹会の開催状況の報告、中高の現状について小栗校長から報告があり、コロナで中止となっていた学園祭も復活したことや部活道の報告など、明るい話題を伺いました。短大の現状については、副会長から報告があり、今年行われる40周年記念イベントや、公務員資格取得対策について、お話しを伺いました。

総会終了後は、懇親会会場へ移動。立見前会長の乾杯の挨拶を皮切りに、期を超えて楽しい歓談の場となりました。

コロナ禍で開催できなかった3年分を一気に取戻すかのように、活発に在学当時の思い出話に花が咲き、話題は尽きません。

最後は出席者全員で校歌斉唱し、静新会長による一本締めで2時間にわたる懇親会の幕を閉じました。

横山北斗さん(52期)

『15歳からの社会保障』出版

5月11日(木)に、卒業生の横山北斗さんをお迎えして高校生を対象に「社会保障」の講演会を行いました。

ご自身の病気の経験からソーシャルワーカーを目指すようになった経緯や、昨年出版された『15歳からの社会保障』(日本評論社)から、さまざまな「社会保障」の事例を紹介していただきました。

また最後に「社会保障制度には医療保険や年金保険、介護保険だけでなく、人生のピンチに応じて数種が用意されていますが、その存在を知らなければ利用できません。社会保障制度に関する知識は自分だけでなく周囲の人を助けることにもつながります。」という大切なメッセージをいただきました。

【事務局長 須川 裕】



横山北斗さん (52期)



2022年度 第31回 根笹賞 受賞団体・個人一覧

高等学校の部

	名称(部活動名等)			大会名		種 目	結 果
1	特別賞 団体	陸上競技部		関東高等学校陸上競技大会		女子総合	優 勝
2		ソフトボール部		2022関東高等学校男子ソフトボール選手権大会			第3位
3		山岳部		第57回群馬県高等学校総合体育大会登山競技		男子	第2位
4		男子バスケットボール部		第75回全国高等学校総合体育大会バスケットボール競技県予選会 (香川インターハイ初出場)			優 勝
5		バドミントン部		第73回県高校新人バドミントン大会		男子学校対抗戦	第3位
	名称(部活動名等)		名 前	学年	大会名	種 目	結 果
6	特別賞 個人	男子 バスケットボール部	柄 澤 日 向	3年	香川インターハイ 男子バスケットボール大会	1 試合最多得点者	
7			清 水 智 也	3年	群馬県高体連バスケットボール専門部	優秀選手賞	
8			古 矢 大 空	3年	群馬県高体連バスケットボール専門部	優秀選手賞	
9			金 子 奨	3年	群馬県高体連バスケットボール専門部	優秀選手賞	
10			竹 之 内 權	2年	茨城国体	U16群馬県代表	
11			山 口 時 生	1年	茨城国体	U16群馬県代表	
12		陸上競技部	高 木 なるみ	3年	関東高等学校陸上競技大会	女子1500m	優 勝
13			白 鳥 美 羽	3年	関東高等学校陸上競技大会	女子円盤投げ	第3位
14			樋 口 里 桜	3年	全国高等学校総合体育大会	女子5000mW	第5位
15			林 絹 華	3年	関東高等学校陸上競技大会	女子5000mW	第7位
16			藤 野 萌 嘉	3年	第57回群馬県高等学校総合体育大会	女子ハンマー投げ	優 勝
17			黛 月 菜	3年	第75回群馬県高等学校対抗陸上競技大会	女子やり投げ	優 勝
18			山 口 萌 乃	3年	第57回群馬県高等学校総合体育大会	女子400mH	優 勝
19			川 田 夏 鳴	2年	群馬県高等学校陸上競技強化大会	女子100mH	優 勝
20			矢 島 好 逢	2年	第57 回群馬県高等学校総合体育大会駅伝競走の部	女子第4区	区間賞
21			落 合 優希奈	1年	関東高等学校陸上競技大会	女子800m	第3位
22			黒 澤 心 菜	1年	第57回群馬県高等学校総合体育大会	女子3000m	優 勝
23			桑 原 理 緒	1年	群馬県高等学校新人陸上競技大会	女子400mH	優 勝
24			水無瀬 実 央	1年	群馬県高等学校陸上競技強化大会	女子ハンマー投げ	優 勝
25			大 和 美早紀	1年	群馬県高等学校陸上競技強化大会	女子走高跳	第2位
26			大 沢 紗 野	1年	関東高等学校選抜新人陸上競技選手権大会	女子5000mW	第5位
27			佐 藤 楓 華	1年	群馬県高等学校陸上競技強化大会	女子3000m	第5位
28			山岳部	柏 澤 慧 海	2年	第53回新人登山大会	男子個人
29		茂 木 俊 輔		2年	第53回新人登山大会	男子個人	第2位
30		バドミントン部	松 島 勇 海	2年	第73回群馬県高等学校新人バドミントン大会	男子ダブルス	第3位
31			佐 瀬 龍之介	1年	第73回群馬県高等学校新人バドミントン大会	男子ダブルス	第3位
32		写真部	岡 田 真 歩	3年	とうきょう総文2022 写真コンテスト		優秀賞
33		特別課外活動 (新島論文)	小金澤 一 心	3年	2022年度 新島襄生誕180年記念学生・生徒懸賞論文 『新島襄と明治政府の教育理念の違い』	高等学校の部	最優秀賞
34		特別課外活動 (新体操)	小 野 寧 々	3年	第57回群馬県高等学校総合体育大会 新体操	女子個人総合	優 勝
35		特別課外活動 (自転車)	松 島 煌 和	3年	第11回 J B C F ジュニアユースチャンピオンシップ		優 勝
36	奨励賞 個人	陸上競技部	佐 藤 楓 華	1年	群馬県高等学校陸上競技強化大会	女子3000m	第5位
37		特別課外活動 (新島論文)	高 木 啓 佑	3年	2022年度 新島襄生誕180年記念学生・生徒懸賞論文 『「地政学」の面からみる新島襄の戦略と選択』	高等学校の部	佳 作

中学校の部

		名称(部活動名等)	大会名			種 目	結 果
38	特別賞 団体	ソフトボール部	第44全国中学校ソフトボール大会			男 子	第3位
39		バスケットボール部	第75回群馬県中学校バスケットボール大会			男 子	優 勝
40		バドミントン部	第44回群馬県中学校バドミントン大会			男子団体	優 勝
41		バドミントン部	第44回群馬県中学校新人バドミントン大会			女子団体	第3位
42	奨励賞 団体	陸上競技部	第72回群馬県中学校駅伝競走大会			女子駅伝	第4位
		名称(部活動名等)	名 前	学年	大会名	種 目	結 果
43	特別賞 個人	バスケットボール部	猿 谷 雄 摩	3年	群馬県バスケットボール協会 2022年度年間優秀選手	U15ベスト5	
44		バドミントン部	濱 西 心 太	3年	第44回 群馬県中学校バドミントン大会	男子シングルス	優 勝
45		バドミントン部	柳 澤 実	2年	第43回 群馬県中学校春季バドミントン大会	男子シングルス	準優勝
46		陸上競技部	富 田 莉々香	1年	第68回全日本中学校通信陸上競技大会	女子1年走幅跳	優 勝
47	奨励賞 個人	陸上競技部	田 代 莉奈子	3年	第57回群馬県中学校総合体育大会	女子共通1500m	第4位
48		特別課外活動 (英語弁論大会)	高 橋 明 莉	2年	高円宮杯第74回全日本中学校英語弁論大会	決勝予選大会	出 場

第45回新島学園同窓会ゴルフ大会報告

日時 2023年9月18日(月祝)
会場 富岡倶楽部(富岡市)

さる9月18日(月)、富岡市にある富岡倶楽部において、厳しい残暑の中、同窓会ゴルフ大会が開催されました。

2020年から続く新型コロナウイルス感染症の蔓延により、2回の中止を余儀なくされていた同大会ですが、昨年から再開され、今年も多く同窓生にご参加いただきました。

今回は35期・41期の同窓生が幹事を担当し、幹事期の皆さまの積極的なお声掛けの結果、参加人数は118名(うち女性24名)と、盛大なゴルフ大会となりました。

また昨年より、感染症対策の観点から、プレー後の表彰式は

行わず、前半ハーフプレーでのスコア集計方法を採用し、1ラウンド終了後には、成績表と賞品を受け取る形式に変更しました。

表彰式パーティーを行わないことで、同窓生の交流も少なくなってしまうことも懸念しましたが、プレー終了後や賞品受け渡し会場では期を越えた交流も多数見受けられました。

本大会運営におきまして、協賛賞品提供や多大なるご協力い

ただきました同窓生の皆さま、また開催コースのスタッフ方々のご配慮には、この場をお借りして厚く御礼申し上げる次第でございます。

来年の「第46回新島学園同窓会ゴルフ大会」開催は、2024年9月23日(月祝)に、同「富岡倶楽部」において行う予定です。

幹事担当は36期・42期生の皆さまです。今年ご参加の皆さまはもとより、特に30・40・50期以降の若手の皆さまの積極的なご参加を期待しております。



優勝 腰塚國治氏(27期)



結果報告(敬称略)

優勝

腰塚 國治 (27期) イン 46 ネット 34.0

女子優勝

清水 さゆり (39期) アウト 53 ネット 37.4

ベストグロス

野田 典靖 (31期) イン 37

準優勝 岡田 瑞穂 (35期)

3位 関 優樹 (35期)

4位 樋口 守敏 (11期)

5位 清水 聖二 (32期)

6位 堤 文男 (33期)

7位 田村 正義 (41期)

8位 金井 行雄 (13期)

9位 北村 恵一 (27期)

10位 福島 克彦 (11期)



お知らせ

これまでの同窓会報『根笹』のバックナンバーは、同窓会のホームページ(<http://www.neesima-dosokai.jp/>)からご覧いただけます。

同窓会報『根笹』



【『根笹』最近掲載の主な寄稿文】

第51号

◎改めて『新島学園のキリスト教教育』を考える

学校法人新島学園 理事長 湯浅 康毅

◎変化の中の新島学園中学・高校と将来の方向

新島学園中学校・高等学校 校長 岩間 秀彬

第52号

◎苦難は忍耐を、忍耐は練達を、練達は希望を生む

学校法人新島学園 理事長 湯浅 康毅

◎新たなる出発、今思うこと

新島学園中学校・高等学校 校長 古畑 晶

◎恩師探訪『新島学園同窓会の立役者』岡 賢先生

第32期生 星野 伸樹

第53号

◎息を合わせる -60期生以降の皆さんへ

学校法人新島学園 理事長 湯浅 康毅

◎高校ソフトボール部 第13回U18男子ソフトボール WORLD CUP in New Zealand 報告

新島学園高等学校ソフトボール部顧問 45期生 田中 徹浩

第54号

◎教育の五原則 新島学園ファームの意味

学校法人新島学園 理事長 湯浅 康毅

◎新島学園開校記念講演会

新島学園でどんな学校? -その歴史と特徴-

同志社大学名誉教授 学校法人新島学園 理事 原 誠

◎恩師探訪 里見義康 先生

新島文化研究所 星野 伸樹

第55号

◎いのちの教育について

学校法人新島学園 理事長 湯浅 康毅

◎「試練の後には…」

新島学園中学校・高等学校 校長 古畑 晶

◎男子バスケットボール部

「県大会初優勝」という『てっぺん』から見たもの

新島学園高等学校 男子バスケットボール部顧問 青柳 保志

◎恩師探訪 山縣英明 先生

新島文化研究所 星野 伸樹

「根笹賞」 協賛金賛同者一覧

(2022年10月28日～2023年7月26日)

協賛金：企業の場合：1口10,000円 個人の場合：1口3,000円

協賛金 3,000円				
山 縣 英 明 (1期)	吉 田 罔 之 (3期)	高 橋 真 実 (4期)	荻 原 安 大 (7期)	宇 佐 美 貞 夫 (8期)
清 塚 洋 太 郎 (8期)	柘 植 正 (8期)	服 部 光 正 (9期)	小 島 信 生 (11期)	高 橋 洋 一 (12期)
佐 藤 吉 那 (14期)	横 尾 廣 之 (15期)	飯 沼 民 雄 (17期)	磯 貝 和 俊 (18期)	宮 原 眞 策 (19期)
善如寺留美子 (20期)	天 田 雅 己 (20期)	北 原 雄 一 郎 (20期)	栗 原 昭 雄 (20期)	小 瀧 秀 夫 (21期)
上原メイ子 (24期)	小 板 橋 秀 夫 (25期)	小 林 栄 郎 (25期)	角 谷 正 雄 (27期)	沖 田 恭 子 (28期)
湯 本 直 也 (28期)	杉 山 信 子 (29期)	白 田 周 一 (30期)	田 口 啓 介 (30期)	山 田 勝 光 (30期)
岩 淵 龍 仁 (34期)	齊 藤 佳 代 子 (35期)	酒 井 三 恵 子 (36期)	新 野 和 伸 (36期)	下 山 ち ひ ろ (45期)
伊 佐 治 千 尋 (46期)	轟 夕 起 子 (47期)	中 政 一 郎 (49期)	原 洋 介 (54期)	舘 野 由 梨 (62期)
小 林 拓 郎 (63期)	松 井 孝 裕 (67期)	近 藤 寿 音 (70期)	【掲載辞退 21名】	

協賛金 2口 6,000円				
古 谷 健 (15期)	山 本 英 夫 (16期)	松 江 実 (19期)	武 者 寛 (20期)	齊 藤 昇 (28期)
西田州応 (秀雄) (32期)	島 田 伸 子 (42期)	川 本 由 紀 恵 (43期)	【掲載辞退 4名】	

協賛金 3口 9,000円				
上 原 常 宏 (4期)	高 尾 信 之 (6期)	立 見 賢 治 (20期)	櫻 井 宏 信 (21期)	山 田 中 久 (26期)
下 城 郁 雄 (37期)	有 田 大 輔 (41期)	池 下 寛 子 (42期)	【掲載辞退 2名】	

協賛金 10,000円				
菅 田 則 芳 (2期)	須 田 哲 生 (3期)	鬼 形 正 明 (5期)	永 山 敏 之 (8期)	松 井 誠 (10期)
水 上 征 隆 (12期)	入 澤 忠 男 (15期)	阪 本 要 一 (15期)	難 波 克 明 (15期)	齋 藤 和 夫 (18期)
有 賀 一 師 (30期)	生 方 康 浩 (35期)			
(株)田村石油【田村 守 (6期)】		(株)エスワイ【湯川重雄 (9期)】		
Fortune Holdings【小林謙二 (15期)】		丸山眼科クリニック【丸山明信 (15期)】		
(株)島田教材社【島田芳久 (17期)】		佐藤光昭技術士事務所【佐藤光昭 (20期)】		
(有)洛楽【田中由美 (25期)】		萩原建設(株)【萩原永史 (25期)】		
佐藤産業(株)【佐藤克佳 (33期)】		(株)日本労務センター【山田恵一 (37期)】		
医療法人栄和会【淡嶋匡史 (40期)】		小野里工業(株)【小野里拓也 (42期)】		【掲載辞退 5名、1社】
(有)八百万商店【荻原昌弘 (45期)】		(株)永真工業【宮永真実 (48期)】		

協賛金 5口 15,000円		協賛金 20,000円	
今 井 秀 司 (23期)		医療法人協和会【新井 哲 (29期)・新井 卓 (39期)】	
【掲載辞退 2名】		(株)上毛テクニカル【山口 淳 (40期)】	
		(株)氷見鉄工所【氷見国雄 (47期)】	

協賛金 7口 21,000円		協賛金10口 30,000円	
室 伏 真 理 (48期)		高 橋 進 (3期) 大 山 充 徳 (25期) 福 田 朋 和 (48期)	
		(有)高崎塗装工業所【青島 浩 (15期)・青島真一 (43期)】	
		【掲載辞退 2名、1社】	

協賛金 50,000円		【掲載辞退 1名】	
舘 次 郎 (13期) 荻 原 俊 治 (17期)			

協賛金 500,000円		合計 138名 1,660,000円	
匿 名 (10期)		以上、ご賛同いただいた皆様 ありがとうございます	



2023年9月16日(出) ホテルメトロポリタン高崎にて、小瀧先生、竹内先生を迎え、28期の同窓会が7年ぶりに開催されました。

生ギターによる演奏、歌唱に会場は盛り上がり、おしゃべりは尽きません。

参加者は36名。卒業写真と照らし合わせ、過ぎた日々を思い返しました。

校歌を斉唱して、次回を楽しみに開きとなりました。

28期同窓会

地区根笹会・同期会

2022年度 開催報告

〈地区根笹会〉	東京根笹会	2022年10月22日(土) 14時	日本外国特派員協会	30名
	高崎根笹会	2022年11月11日(金) 18時	マリエール高崎	96名
〈同期会〉	6期同期会	2022年 8 月30日(火)~31日(水)	晴観荘	5 名
	70期同期会	2023年 1 月 8 日(日)	エテルナ高崎	148名

2023年度 開催予定

〈地区根笹会〉	吾妻根笹会	未 定		
	東京根笹会	2023年 7 月 7 日(金) 18時30分	日本外国特派員協会	
	安中根笹会	2023年 7 月 1 日(土)	並木苑	
	高崎根笹会	2023年10月 6 日(金) 18時	マリエール高崎	
	前橋根笹会	検討中		
	富岡かんら根笹会	2023年11月11日(土) 18時	ホテルアミューズ富岡	
	伊勢崎・佐波根笹会	検討中		
	桐生根笹会	2023年 9 月16日(土) 17時	美喜仁館	
	埼玉根笹会	未 定		
	軽井沢根笹会	未 定		



2022年度事業報告

年月日	事業名	場 所	備 考
2022年			
4月28日(木)	本部役員会	新島学園 フィリアホール	総会について
6月4日(土)	理事・評議員会(総会)	新島学園礼拝堂	
7月25日(月)	本部役員会	新島学園 フィリアホール	同窓会報「根笹」打ち合わせ
8月30日(火)	サマーコンサート(一般向け)	新島学園礼拝堂	主催:新島学園中学校 高等学校
8月31日(水)	サマーコンサート(生徒向けのみ)		
9月19日(月祝)	第44回ゴルフ大会	富岡倶楽部	担当期:34期、40期
10月1日(土)	同窓会報「根笹」55号発行	同窓会報「根笹」郵送	
10月中旬	本部役員会	新島学園 フィリアホール	新型コロナウイルス感染症防止のため中止
12月25日(日)	クリスマスコンサート	軽井沢大賀ホール	新型コロナウイルス感染症防止のため中止
2023年			
1月下旬	本部役員会(根笹賞選考会)	新島学園 フィリアホール	新型コロナウイルス感染症防止のため書面決議
2月21日(火)	本部役員会	新島学園 フィリアホール	役員改選について
2月28日(火)	同窓会入会式	新島学園礼拝堂	高校卒業式予行にて
3月1日(水)	根笹賞授与式(高校)	新島学園礼拝堂	高校卒業式にて
3月17日(金)	根笹賞授与式(中学)	新島学園礼拝堂	中学卒業式にて

2023年度事業計画

年月日	事業名	場 所	備 考
2023年			
4月27日(木)	本部役員会	新島学園 フィリアホール	
6月3日(土)	理事・評議員会(総会)	マリエール高崎	
8月29日(火)	本部役員会	新島学園 フィリアホール	同窓会報「根笹」打ち合わせ
8月30日(水)	サマーコンサート(一般向け)	新島学園礼拝堂	
9月18日(月祝)	第45回ゴルフ大会	富岡倶楽部	担当期:35期、41期
11月1日(水)	同窓会報「根笹」56号発行	同窓会報「根笹」郵送	
11月中旬	本部役員会	新島学園 フィリアホール	
2024年			
1月中旬	本部役員会	未定	根笹賞選考会
2月29日(木)	同窓会入会式	新島学園礼拝堂	高校卒業式予行にて
3月1日(金)	根笹賞授与式(高校)	新島学園礼拝堂	高校卒業式にて
3月19日(火)	根笹賞授与式(中学)	新島学園礼拝堂	中学卒業式にて

2022年度同窓会決算報告

一般会計

2022年度 収支決算書

(2022.4.1～2023.3.31)

(単位：円)

収 入	科 目	予算額	決算額	予算差異	備 考
	前年度繰越金(1)	14,560,029	14,560,029	0	
	同窓会費収入	3,920,000	3,920,000	0	10,000×392名 (高1・216名 中1・178名)
	名簿代収入	4,000	9,370	5,370	
	利息収入	1,000	313	▲687	定期257円 普通56円
	雑収入	1,900,000	1,167,765	▲732,235	根笹協賛金
	収入小計(2)	5,825,000	5,097,448	▲727,552	
	収入合計(1)+(2)	20,385,029	19,657,477	▲727,552	

支 出

(単位：円)

支 出	科 目	予算額	決算額	予算差異	備 考
	印刷費	10,000	0	▲10,000	同窓会報根笹印刷費
	会議費	300,000	233,114	▲66,886	役員会等
	事務費	160,000	155,873	▲4,127	コピーリース145,200円 使用料等10,693円
	消耗品費	5,000	15,544	10,544	ラベルシール等
	遠征費補助金支出	200,000	290,000	90,000	部活動全国大会出場祝金
	同窓会等助成金支出	300,000	80,000	▲220,000	6期70期同窓会 東京高崎 根笹会開催
	旅費交通費	10,000	10,000	0	
	通信費	85,000	72,950	▲12,050	電話料金・郵便代等
	根笹編集関連費	140,000	130,900	▲9,100	ホームページ130,900円
	同窓会主催事業費	1,700,000	1,366,893	▲333,107	根笹送付・コンサート協 賛金他
	学園祭協賛金	0	0	0	
	雑費	80,000	59,880	▲20,120	県下高校OB・OGゴル フ等
	予備費	30,000	0	▲30,000	
	支出小計(4)	3,020,000	2,415,154	▲604,846	
	当年度収支差額(2)-(4)	2,805,000	2,682,294	▲122,706	
	次期繰越(5)	17,365,029	17,242,323	▲122,706	
	支出合計(4)+(5)	20,385,029	19,657,477	▲727,552	

注：予算差異の▲は、予算未達成を意味する。

一般会計

2023年度 収支予算書(案)

(2023.4.1～2024.3.31)

(単位：円)

収 入	科目	前年度決算額	予算額	増 減	備考
	前年度繰越金(1)	14,560,029	17,242,323	2,682,294	
	同窓会費収入	3,920,000	3,890,000	▲30,000	10,000×389名 (中1 高1 合計)
	名簿代収入	9,370	9,000	▲370	
	利息収入	313	400	87	前年実績
	雑収入	1,167,765	1,500,000	332,235	根笹協賛金・総会参加費
	収入小計(2)	5,097,448	5,399,400	301,952	
	収入合計(1)+(2)	19,657,477	22,641,723	2,984,246	

支 出

(単位：円)

支 出	科 目	前年度決算額	予算額	増 減	備考
	印刷費	0	0	0	会議費・総会費用
	会議費	233,114	800,000	566,886	会議費・総会費用
	事務費	155,873	160,000	4,127	コピーリース料・使用料
	消耗品費	15,544	20,000	4,456	
	遠征費補助金支出	290,000	300,000	10,000	部活動大会出場補助
	同窓会等助成金支出	80,000	200,000	120,000	同窓会・地区根笹会補助
	旅費交通費	10,000	10,000	0	事務局関係旅費
	通信費	72,950	85,000	12,050	電話料金・郵便代等
	根笹編集関連費	130,900	140,000	9,100	ホームページ更新料
	同窓会主催・共催事業費	1,366,893	1,700,000	333,107	根笹送付費用・根笹基金 充当金等
	学園祭協賛金	0	300,000	300,000	
	雑費	59,880	70,000	10,120	
	予備費	0	30,000	30,000	
	支出小計(4)	2,415,154	3,815,000	1,399,846	
	当年度収支差額(2)-(4)	2,682,294	1,584,400	▲1,097,894	
	次期繰越(5)	17,242,323	18,826,723	1,584,400	
	支出合計(4)+(5)	19,657,477	22,641,723	2,984,246	

注：予算差異の▲は、前年度実績を下回る予算額を意味する。

収支決算 財産目録

(単位：円)

資産の部	決算額
現金 99,832円 振替口座 1,313,890円	1,413,722
普通預金 群馬銀行 / 安中支店 No.446478	15,828,601
繰越金残高計(a)	17,242,323
固定性定期預金 群馬銀行 / 安中支店 No.368546(b)	12,000,000
正味財産(a)+(b)	29,242,323

予算案 財産目録

(単位：円)

資産の部	前年実績	予算額
現金・振替口座	1,413,722	0
普通預金 群馬銀行 / 安中支店 No.446478	15,828,601	16,144,429
繰越金残高計(a)	17,242,323	16,144,429
定期預金 群馬銀行 / 安中支店 No.368546(b)	12,000,000	12,000,000
正味財産(a)+(b)	29,242,323	28,144,429

根笹基金

2022年度 収支決算書

(2022.4.1～2023.3.31)

収 入

(単位：円)

収 入	科 目	決算額	備 考
	前年度繰越金	15,893,472	定期預金 15,000,000円 普通預金 893,472円
	寄附金収入	0	
	利息収入	263	定期預金利息 255円 普通預金利息 8円
	雑収入	116,000	ゴルフチャリティー
	収入小計(1)	116,263	
	合計	16,009,735	

支 出

(単位：円)

支 出	科 目	決算額	備 考
	褒賞費	298,045	ギフトカード、お祝い金
	賞状ファイル代	85,415	賞状ファイル代 印刷代
	雑費	550	残高証明書
	支出小計(2)	384,010	
	当年度収支差額(1)-(2)	▲267,747	
	次期繰越金	15,625,725	
	支出合計	16,009,735	

根笹基金 財産目録

資産の部

(単位：円)

普通預金 群馬銀行 / 安中支店No.741658	625,725
定期預金 群馬銀行 / 安中支店No.378360	15,000,000
正味財産	15,625,725

会計監査報告

2022年度（2022年4月1日～2023年3月31日）の一般会計及び根笹基金会計の会計帳簿並びに証書類を監査した結果、すべて適切・正確に処理されていると認めます。

2023年4月27日
会計監査人

佐藤光昭
武蔵利通
小坂栄郎